

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野（砂防）
平成 29 年度採択テーマ
事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	総合評価
奥飛騨における大規模土砂災害対策に資する土砂動態把握手法の高度化 (研究期間：H29 年度～R1 年度)	三重大学 教授 堤大三	A
<p><研究概要></p> <p>本研究では、山地河川での土砂動態を正確に把握することで大規模土砂災害発生を予測することを目的として、足洗谷流域での土砂移動を直接法と間接法（パイプハイドロフォン）で計測し、新たに開発したキャリブレーション手法によって流砂量の定量的かつ連続的な計測を行った。その結果、粒度分布を含めた掃流砂の連続観測が可能となり、新しいキャリブレーション手法の有効性が示された。また、水路横断方向に複数設置したハイドロフォンによって、掃流砂の偏流を定量的に確認した。</p>		
<p><事後評価コメント></p> <p>本研究は、流砂量測定手法としてのハイドロフォンの精度向上に取り組み、多くの出水事例で測定・解析事例を蓄積したことにより、実測値をもとに合理的な解析手法の提案されており、汎用性の高い解析手法の確立が期待できるものである。</p> <p>今後は、計測可能な粒径を小さくすることや、溪床勾配が異なる複数箇所における観測を検証することで精度の向上に向けて取り組んで頂きたい。</p>		

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B：研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C：一定の研究成果があった
- D：研究成果があったとは言い難い